



## 平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月15日

上場会社名 富士精工株式会社

上場取引所 名

コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 森 誠

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 鈴木 龍城

TEL 0565-53-6611

四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	12,935	12.0	880	83.5	1,036	100.0	774	110.5
24年2月期第3四半期	11,548	11.3	480	563.0	518	116.0	368	—

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 969百万円 (—%) 24年2月期第3四半期 25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	41.02	—
24年2月期第3四半期	19.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	19,397	12,651	60.6	625.18
24年2月期	18,751	11,793	58.4	578.35

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 11,750百万円 24年2月期 10,941百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年2月期	—	3.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※ 平成25年2月期の期末配当金予想 普通配当3円00銭

平成24年7月12日公表の平成25年2月期の期末配当金予想について修正しております。

なお、当該配当金予想の修正に関しましては、本日平成25年1月15日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,660	11.3	850	62.9	990	63.7	740	66.1	39.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	21,533,891 株	24年2月期	21,533,891 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	2,739,219 株	24年2月期	2,615,304 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	18,892,177 株	24年2月期3Q	18,919,572 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

また、通期業績予想に関しまして予想値の修正を発表しております。当該予想に関する事項につきましては、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」及び本日平成25年1月15日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州での債務問題を背景とした海外経済の減速化等が影響した円高の長期化や株価の下落等の要因により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

また、わが国の経済は、東日本大震災の復興需要を背景とした回復の兆しがみられるものの、電力の安定供給への懸念、欧州問題に起因する金融市場の混乱や円高の長期化、日中関係の悪化などにより、経済活動の本格的な回復の妨げになっております。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、東日本大震災及びタイ大洪水からの復旧、あるいはエコカー補助金等の影響を受けて、生産の回復基調がみられたものの、日中関係の悪化による販売台数の減少や円高による輸出への影響など、経営環境は予断を許さない状況となりました。

こうした環境のもと、当社グループといたしましては、中期経営戦略に掲げた「特殊工具のオンリーワン・カンパニーとなる」「加工点まわりのトータル・エンジニアリング・カンパニーとなる」といったテーマのもと、取引先との取引深耕に努め、受注確保を図ってまいりました。

その結果、売上高は129億3千5百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益8億8千万円（前年同四半期比83.5%増）、経常利益10億3千6百万円（前年同四半期比100.0%増）、四半期純利益7億7千4百万円（前年同四半期比110.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

東日本大震災からの復旧により、自動車産業界における国内生産は回復基調にあり、また新興国市場向けの設備投資等が好調に推移いたしました。

その結果、工具、治具、自動車用試作部品等の需要が増加し、売上高は83億9千5百万円（前年同四半期比14.9%増）、セグメント利益は5億6千7百万円（前年同四半期比107.8%増）となりました。

#### ②アジア

中国、韓国、東南アジアの自動車産業界でのおう盛な設備投資意欲等にけん引され、工具の需要は堅調に推移しました。

その結果、売上高は26億3千1百万円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益は2億2千万円（前年同四半期比33.4%増）となりました。

#### ③北米

自動車産業界における自動車生産の回復を受け、工具の需要が増加に転じてまいりました。

その結果、売上高は7億6千2百万円（前年同四半期比33.3%増）、セグメント利益は2千9百万円（前年同四半期は3千5百万円のセグメント損失）となりました。

#### ④オセアニア

豪ドル高にともなう国内製品の競争力低下、国内の小売業界不調等の影響を受け、当地域において販売しております住宅用断熱資材、パブルバック製品の需要は減少いたしました。

その結果、売上高は9億3千7百万円（前年同四半期比5.7%増）、セグメント利益は5千1百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。

#### ⑤その他

当地域におきましては、売上高は2億8百万円（前年同四半期比29.2%減）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末と比較して、6億4千5百万円増加して193億9千7百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が3億1千万円、投資有価証券が1億8千万円、それぞれ減少したものの、有価証券が9億4千2百万円、商品及び製品が2億7千万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して、2億1千2百万円減少して67億4千5百万円となりました。

これは主に、短期借入金が2億円減少したことなどによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して、8億5千8百万円増加して126億5千1百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が6億8千万円、為替換算調整勘定が1億5千9百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は60.6%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。  
詳細につきましては、本日(平成25年1月15日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,477,296	2,167,043
受取手形及び売掛金	4,668,160	4,690,976
有価証券	323,439	1,266,019
商品及び製品	1,175,068	1,445,079
仕掛品	375,240	472,718
原材料及び貯蔵品	267,670	320,411
繰延税金資産	111,917	115,542
その他	197,092	199,962
貸倒引当金	△15,312	△16,799
流動資産合計	9,580,573	10,660,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,366,106	2,381,577
機械装置及び運搬具(純額)	2,850,389	2,734,306
土地	1,329,476	1,336,912
建設仮勘定	82,590	60,210
その他(純額)	132,960	134,360
有形固定資産合計	6,761,524	6,647,366
無形固定資産		
174,829		182,186
投資その他の資産		
投資有価証券	1,853,112	1,672,830
長期貸付金	4,553	3,706
繰延税金資産	46,674	46,719
その他	365,326	218,478
貸倒引当金	△34,976	△34,976
投資その他の資産合計	2,234,691	1,906,757
固定資産合計	9,171,045	8,736,311
資産合計	18,751,619	19,397,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,073,172	1,086,302
短期借入金	600,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,589,529	1,553,142
未払法人税等	64,849	65,010
賞与引当金	90,631	287,360
関係会社整理損失引当金	24,756	24,756
繰延税金負債	1	19,421
その他	918,800	891,589
流動負債合計	4,361,740	4,327,583
固定負債		
長期借入金	671,861	593,449
繰延税金負債	97,609	64,474
退職給付引当金	1,628,252	1,571,460
その他	198,947	188,628
固定負債合計	2,596,670	2,418,012
負債合計	6,958,411	6,745,596
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,165,413	4,165,413
利益剰余金	5,553,332	6,233,698
自己株式	△733,297	△753,750
株主資本合計	11,867,464	12,527,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147,636	136,780
為替換算調整勘定	△1,073,449	△914,068
その他の包括利益累計額合計	△925,812	△777,287
新株予約権	4,862	12,933
少数株主持分	846,693	888,646
純資産合計	11,793,208	12,651,670
負債純資産合計	18,751,619	19,397,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	11,548,197	12,935,703
売上原価	9,057,371	9,896,750
売上総利益	2,490,826	3,038,952
販売費及び一般管理費	2,010,735	2,158,202
営業利益	480,091	880,750
営業外収益		
受取利息	41,907	46,248
受取配当金	10,650	12,722
持分法による投資利益	56,236	140,853
デリバティブ評価益	27,585	—
その他	67,293	92,782
営業外収益合計	203,673	292,607
営業外費用		
支払利息	52,735	43,791
売上割引	9,854	16,021
為替差損	100,466	50,980
その他	2,541	26,093
営業外費用合計	165,598	136,885
経常利益	518,166	1,036,471
特別利益		
固定資産売却益	598	1,922
投資有価証券売却益	—	10,308
その他	395	—
特別利益合計	993	12,230
特別損失		
固定資産除売却損	7,125	5,520
投資有価証券評価損	8,140	74,677
ゴルフ会員権評価損	2,125	—
その他	358	21,497
特別損失合計	17,749	101,695
税金等調整前四半期純利益	501,409	947,006
法人税、住民税及び事業税	90,897	115,594
法人税等調整額	1,054	△6,712
法人税等合計	91,952	108,882
少数株主損益調整前四半期純利益	409,457	838,124
少数株主利益	41,225	63,175
四半期純利益	368,231	774,948

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	409,457	838,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127,852	△10,856
為替換算調整勘定	△210,284	125,296
持分法適用会社に対する持分相当額	△45,895	17,188
その他の包括利益合計	△384,032	131,629
四半期包括利益	25,424	969,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,080	923,473
少数株主に係る四半期包括利益	13,344	46,280

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,309,601	2,484,649	572,306	886,957	11,253,515	294,682	11,548,197	—	11,548,197
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,046,455	300,565	519	—	1,347,540	3,838	1,351,379	△1,351,379	—
計	8,356,057	2,785,214	572,825	886,957	12,601,055	298,521	12,899,577	△1,351,379	11,548,197
セグメント利益 又は損失(△)	272,940	165,085	△35,151	45,542	448,418	2,415	450,833	29,257	480,091

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額29,257千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,395,350	2,631,446	762,824	937,517	12,727,139	208,564	12,935,703	—	12,935,703
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,107,834	390,517	198	—	1,498,551	5,639	1,504,190	△1,504,190	—
計	9,503,185	3,021,964	763,023	937,517	14,225,690	214,204	14,439,894	△1,504,190	12,935,703
セグメント利益	567,086	220,276	29,183	51,983	868,530	2,160	870,690	10,059	880,750

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益の調整額10,059千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

提出会社の管理部門及び研究開発費等にかかる費用は前連結会計年度まで報告セグメントに帰属しない全社費用として調整額に含めておりましたが、第1四半期連結会計期間よりセグメントの業績評価を精緻化するために費用の配分方法を細分化しております。

なお、この変更は前第3四半期連結累計期間についても遡及適用しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
  
- (6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。